

食いしん防災コミュニティ部会がいく！

(第31回 2020年12月)



前回母方の一族のことを書いたので、今回は父方について触れよう。

とはいっても、変人奇人ぞろいの母方と違い、父方の一族はいたってまとも。フツウの感覚のフツウの人々だ。しかしどんな平凡な人間にも、ずっとこどっこいな瞬間はある。なんたって食いしん防の血筋だからね。

前回紹介した通夜の席でのグルメ論争は、食いしん防の母親が亡くなった時だったが、その翌年には父親も病で後を追った。二親を失った筆者は、定職もないまま独りぼっちになった。人生のどん底期である。葬式が終わり、参列してくれた父方の伯父が帰る間際になって、眉間にしわを寄せた深刻そうな顔で切り出した。

「わしは前からずっと気になっとったんじゃけんどな。おまえの家の庭に葡萄の木があるやろ」

「はい」

「家の庭に葡萄を植えたらあかんのや」

「な、なんでですか!？」

葡萄の木からは人体に害がある物質でも出るのか？ 青い顔で聞き返した食いしん防に、伯父は重々しい口調で続けた。

「葡萄の実は枝から下がるやろ。成り下がる、ちゅうて縁起が悪いんじゃ」



ただの駄洒落やん！ 食いしん防は心の中で突っ込んだが、殊勝に「わかりました、すぐ切ります」と頭を下げた。

その木は、葡萄好きだった父親に食べさせるため（買うと高価なので）母親が植えたものだった。食いしん防も食べたことがあるが、はっきり言って酸っぱいだけで美味しなかった。切るのとは別に惜しくはないが、迷信に従うのは癪にさわる。

意地になって切らないままで必死に就職活動を行い、生活を立て直すことができた。父親の1周忌を迎える直前に、葡萄の木を処分した。

「伯父さんの忠告に従ったら、おかげさまでうまくいきました」

そう言うと伯父は機嫌よくガハハと笑い、続けてこう言った。

「もしカノジョができたら（当時の食いしん防は独身）連れてこい。おまえは人を見る目がないから、悪い女に騙されてないか、わしが判断しちゃう」

それから数年が過ぎ、食いしん防は結婚を申し込んでいた女性を連れて、伯父のところへ行った。しばらく彼女と話をした後、伯父は筆者を部屋の外に連れ出してガハハと笑いこう言った。

「あの娘なら大丈夫や。わしが太鼓判を押す。安心して結婚せい」



伯父の家を出てしばらく車で走ったころ、彼女はブハーッと息を吐いて伸びをした。
「あー、おとなしく振る舞うのに肩がこったぜ。ガハハハッ」
彼女は妖怪人間ベラそっくりに、耳まで裂けた口で大笑いした。



伯父も今では鬼籍に入ったが、人を見る目がなかったことは明らかである。

TOPICS

☆今年度最初の（そしておそらく最後の）DIG 出前講座

今年はコロナで多くのイベントが中止に。当然、防災出前講座の依頼もまったくないまま半年が過ぎた。「もう今年はないなー」と油断していると、依頼が！
ううっ、ありがたいことです。いやホンマに。

食いしん防災部会のモーフィアス部会長率いる出前講座部隊（総勢2名）が、冬の足音迫る11月22日の朝、池庄町公民館におじゃました。迎え撃つは池庄町自主防災会の役員さんたち。3つのテーブルに分かれて鋭い視線を飛ばしてくる……
というのは嘘で、あったかいコーヒーを淹れて歓迎していただきました。恐縮です！

DIG（災害図上訓練）をするのは1年ぶりくらいだったので、事前におさらいはしていたものの、緊張してギャグを飛ばす余裕もなく……

それでも池庄の皆さんは熱心に取り組んでいただきました。さすが防災に熱心に取り組んでおられるだけのことはあります。後日にはていねいなお礼状までいただきました。恐縮です！

今年は、大勢で集まったの訓練や講習はなかなか難しい状況です。実施しないという選択もありだと思えます。食いしん防災部会としても、依頼がないから何もしないのではなく、来年以降にこれまで以上の出前講座が行えるよう、研究や準備を進めていくつもりです。コロナが一段落してから、みんなでまた頑張りましょう！

今後の活動予定

12月10日 災害支援市民ネットワークしが研修会
令和3年

1月18日 災害支援市民ネットワークしが研修会

※ 出前講座の申し込み受け付けます！



勝手にQ&Aコーナー

Q：コロナ禍において、どのような防災活動ができるのでしょうか？

A：無理はせず、できることをしてください。たとえば防災に関する本を購入して、自主防災組織の役員で回し読みするという手もありますよね。消毒が気になるなら、インターネットで検索した記事を読むのもOK じゃないでしょうか。

Q：伯父さんに見せに行ったカノジョとは、ひょっとして現在の「ベラ似の奥さま」ですか？

A：よくわかりましたね。食いしん防も人を見る目が……あわわ、口がすべった。

楽しい質問、お待ちしております！

(文責：こじまっちょ)

